

総務経済常任委員会活動レポート

開催日：令和8年2月20日(金)

開催場所：1・2号委員会室

総務部

1. 中標津町強靱化計画の改定について

今回の改定は、国の国土強靱化基本計画や北海道強靱化計画の改定を踏まえ、これまで想定していなかったあらゆる事象を想定する必要があること、また、デジタル技術等の進化を活用した防災・減災の取り組みを効率的に進めることが重要となること追加されたとの説明を受けました。現在パブリックコメントを実施中とのことです。

【主な質疑】

委員：災害リスクの中で、弾道ミサイルの議論は？

担当：自治体が対象とするリスクは基本的に大規模自然災害ですが、武力行使等によるものは北海道強靱化計画を勘案し、一部取り入れて整理しています。

委員：致命的な障害を受けずに維持されなければならない町の重要な機能とは？

担当：明文化はされていませんが、行政、住民生活、経済を想定しています。

委員：通電通信にかかる支障木の枝払い・伐採が、この計画によりスムーズに進められますか？

担当：計画では、電力・通信の重要性は明記されています。

委員：ボランティアは町外の方の受け入れを想定とありますが町内の方は？

担当：幅広い団体を想定しています。

2. 地域おこし協力隊について

令和8年2月1日より新たな地域おこし協力隊（委託型）1名が着任、2回目となる活動報告・交流会を令和8年3月23日（月）18：30～20：30、中標津町総合文化会館コミュニティホールで開催するとの報告を受けました。

【主な質疑】

委員：前は限られた隊員との交流でしたが、今回は多くの隊員と交流できますか？

担当：委託業者と協議し進めていきたいと思っております。



前回の交流会の様子

経 済 部

1. 外国人財誘致推進事業について

(1) 外国人材送出機関・教育機関招へい事業について

令和7年12月21日(日)～23日(火)に町内事業者の視察、意見交換会が実施されたとの報告を受けました。

【主な質疑】

委員：育成就労制度へ切り替わることで拡大される対象業種への対応は？

担当：2027年4月1日より制度施行予定ですが、現在も制度の詳細を検討されているため情報収集を行っています。現在の技能実習制度から育成就労制度に移行するため、雇用相談デスクを昨年11月から設け相談対応し、来年度は事業者の掘り起こしや調査を行い、プッシュ型で雇用相談デスクにつなぎ、就労受け入れにつながる取り組みを考えています。

(2) 中標津町留学生修学支援金等の実績調査について

令和7年11月13日～26日に日本語学校1・2年生およびIT専門学校1年生、115名にアンケートを実施しました。回答率は100%でアルバイト活動の有無や1か月の生活費の平均額内訳などの説明を受けました。

- ・平均収入：約16万5千円(内訳：アルバイト、町支援金、自己資金)
- ・平均支出：約12万1千円(内訳：借金(留学資金等)、家賃、自炊、移動費、その他必要経費)

【主な質疑】

委員：修学支援金の今後の方向性は？

担当：日本語学校の多くの留学生は、進学を目指していますが、昨年は町内事業所に2名が就職、本年度も2名が希望しています。今後も就労意欲のある留学生も入学していただくよう学園側にも要請していきます。修学支援金は来年度より家賃月額3万円は3年間継続し生活支援2万5千円は減額する予定です。

建設水道部

1. 建設工事の発注・進捗状況について

2月13日現在で継続費分・繰越分および令和7年度分は100%発注済で、それぞれ進捗状況の説明を受けました。

2. 除雪事業について

積雪状況と路面整正出動回数、薬剤散布回数および郊外全域出動回数が前年同期より増加しているとの報告を受けました。